

大会派遣・研修報告書	
1. 大会・研修会名	第 48 回九州中学校バスケットボール競技大会
2. 研修期間	平成 30 年 8 月 4 日(土)～6 日(月)
3. 派遣者	福岡 敏徳(西海) 森田 将史(長崎) 松永 雄平(佐世保) 一瀬 諒(長崎) 久原 裕未(佐世保)
4. 日程	4 日(土) 移動 ～別府 審判会議 5 日(日) 男女 1・2 回戦(べっぷアリーナ) 6 日(月) 男女準決勝・決勝(べっぷアリーナ) 移動
5. 研修概要 (担当ゲーム)	<p>○女子 1 回戦 今津(大分) 対 鍋島(佐賀) CC 一瀬 諒(長崎) U1 森山 知佳(鹿児島) U2 澤邊 匡佑(熊本)</p> <p>○女子 1 回戦 三股(宮崎) 対 昭栄(佐賀) CC 久原 裕未(長崎) U1 境 秀教(福岡) U2 山本 和史(大分)</p> <p>○男子 1 回戦 出水(熊本) 対 宮崎(宮崎) CC 松永 雄平(長崎) U1 片岡 秀文(大分) U2 佐々木 正洋(大分)</p> <p>○男子 1 回戦 明豊(大分) 対 白川(熊本) CC 岡井 元毅(佐賀) U1 本部 和史(宮崎) U2 一瀬 諒(長崎)</p> <p>○女子 2 回戦 今津(大分) 対 金城(沖縄) CC 久原 裕未(長崎) U1 駒田 万季(鹿児島) U2 野田 明男(福岡)</p> <p>○女子 2 回戦 コザ(沖縄) 対 三股(宮崎) CC 森田 将史(長崎) U1 津留 賢人(熊本) U2 森山 知佳(鹿児島)</p> <p>○男子 2 回戦 西福岡(福岡) 対 豊見城(沖縄) CC 福岡 敏徳(長崎) U1 佐多 裕樹(宮崎) U2 林 剛太(熊本)</p> <p>○男子 2 回戦 池田(鹿児島) 対 白川(熊本) CC 松永 雄平(長崎) U1 境 秀教(福岡) U2 秀島 充彦(佐賀)</p> <p>○女子準決勝 二島(福岡) 対 コザ(沖縄) CC 松永 雄平(長崎) U1 久原 裕未(長崎) U2 藪崎 康平(熊本)</p> <p>○男子準決勝 大分大付属(大分) 対 西福岡(福岡) CC 砂川 卓嗣(沖縄) U1 一瀬 諒(長崎) U2 川井 剛(鹿児島)</p> <p>○女子決勝 二島(福岡) 対 菊陵(福岡) CC 福岡 敏徳(長崎) U1 樋口 俊司(大分) U2 森山 知佳(鹿児島)</p> <p>○女子代表決定戦 金城(沖縄) 対 コザ(沖縄) CC 森田 将史(長崎) U1 川原 禎仁(大分) U2 佐多 裕樹(宮崎)</p>

6. 研修内容	<p><b>【大会を通して】</b></p> <p>本大会より、九州ブロック中学カテゴリーにおいても3P0での完全実施が始まった。1日目はほとんどの方が2試合を担当した。PGC(プレゲームカンファレンス)では、ほとんどのクルーで映像・プレゼンテーションソフトを用いて打ち合わせが行われた。ゲーム後のミーティングでは、主任が撮影した映像をもとに修正点を確認するなど、より改善しやすいように工夫がなされることが多かった。</p> <p><b>【現状と次への改善点(それぞれの担当ゲームに関して)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1ゲームを通して CCM(クルーチーフメンタリティ)をもって、自分の判定を示すことを心掛け、その課題はある程度達成できた。</li> <li>・プレーコーリングに関しては、RSBQとマージナルコンタクトに関してもっと深く研究すべきだと感じた。</li> <li>・メカニクスとしては、トレイルのときのアングルを工夫し、クルーにプレーをリリース(プライマリの引継ぎ)していく必要がある。</li> <li>・PGCでクルーの審判の様子(3P0の経験や癖)を踏まえた工夫、ゲーム中の情報交換の内容、クルーのメカニクスや心情などの情報も入れながら良い方向に修正するためにリーダーシップをとりたい。(CCMの強化)</li> <li>・センターからの判定に関して、トップからのドライブプレーに対してミドルライン側に1歩踏み込む(クロスステップ)などのアングルの取り方、メカニクスの改善を行う。</li> <li>・ベンチが何を言いたいのかを感じ、クルーと情報共有をしながら、スムーズなゲーム運営を行いたい。</li> </ul>
7. 所感	<p>今回の大会では、3P0でのクルーワークの大切さを感じました。自分がCCMを持つことはもちろん大切なことですが、それと同時にクルーにCCMを持たせるにはどうすればよいのか、しっかりと考えていく必要があります。ゲームをしっかりと運営するためには、年齢やライセンスに関係なく、コート上できちんと自分の意見を持つことが大切です。そのための準備を日頃の活動の中で改善を重ねて行き、さらにPGCやゲーム中のコミュニケーションにおいて必要な情報の共有を行うことが、いいゲーム運営につながると考えています。</p> <p>長崎県チームは残念ながら敗れてしまいましたが、秋からの新人戦では、新ルールでの運営となり、県内の審判に求められるものもたくさんあります。皆さんと協力して運営できればと考えています。</p> <p>最後になりましたが、お世話になった大分県関係者の皆様、派遣いただいた長崎県バスケットボール協会の皆様に御礼申し上げます。</p>